

NHK大阪「あほやねん！すきやねん！」に生出演

ピア・メディエーションの取組とラグビー部の活動を紹介！

8月26日（金）に放送されたNHK大阪「あほやねん！すきやねん！」で、茨田高校におけるピア・メディエーションの取組とラグビー部の活動が取り上げられました。

本校が登場した、☆キラリン星みーっけ☆のコーナーは生中継。生徒たちは緊張しながらも明るく元気に茨田高校の特色を紹介しました。

① ピア・メディエーションの取組

本校では、5年前からピア・メディエーションに取り組み、コミュニケーション力の向上や心地よい豊かな人間関係づくりができる学校文化づくりに取り組んできました。

ピア・メディエーション（以下「PM」）とは、仲間同士による紛争解決の手法。

本校では様々な取組により、生徒間のトラブルを生徒同士で解決した事例が報告されているほか、校内における人間関係づくりが少しずつですが、より円滑に行われるようになるなど、様々な成果を得ています。

この日はPMクラブの部員が寸劇でPMを具体的に説明。スタジオからの想定外の質問にも落ち着いて答えました。

寸劇のタイトルは「オレンジケース」。

1つのオレンジを姉妹が取り合うというお話。

姉妹はそれぞれ「オレンジが欲しい」と主張し、間に入ったお母さんは困ってしまいます。

二人はそれぞれの気持ちを十分に出不せないままオレンジの取り合いになっていました。

そこで登場したのがメディエーター（調停者）役の姉妹の兄。PMの原則に基づいて二人の主張を交互に聴きながら調停（話し合い）を進めます。

メディエーターがオレンジの用途を聞いたところ、姉は「マーマレードが作りたい」妹は「実を食べたい」ということがわかり、めでたく実と皮を分け合うという結末。

この寸劇を通じて、仲間同士でトラブルを解決するときには、第三者であるメディエーター（調停者）が結論を導くのではなく、当事者が自らwin-winの関係の解決策（当事者双方が納得する方法）を見つけることが大切であり、これこそがPMの手法だということを説明しました。

【ピア・メディエーションについて】

茨田高校では、毎年夏休みに、大学教授や弁護士を講師に招いて、府立学校の教員を対象とした「ピア・メディエーション講習会」を開催しています。

今年は8月3日～5日の3日間で19校から延べ70人が参加し、盛況のうちに閉会しました。

講師の許可を得て、茨田高校ホームページ上に講習資料（パワーポイント）を公開していますので、興味のある方は是非ご覧ください。



なお、総合的な学習の時間や職員研修でピア・メディエーションを扱いたい場合、講師紹介等のご相談にも応じますので、お気軽にご相談ください。



② ラグビー部の活動

本校のラグビー部は5校で合同チームを編成し、毎日泥んこになりながら練習に励んでいます。全国大会3回出場の輝かしい実績を誇る「古豪“茨田“」の伝統を背負い、他校部員と一丸となって駆ける茨田高校ラグビー部の今を中継してもらいました。



合同チームの構成は、本校のほかに、府立旭高校、泉尾高校、大阪市立泉尾工業高校、東淀工業高校、の4校。8月には長野県の梅池高原で合宿も行いました。

収録の日は茨田高校のグラウンドで合同練習の後、大阪市立汎愛高校との練習試合に臨みました。

放送後、卒業生や関係者から様々な反響をいただき、あらためてメディアの影響力の大きさと広報の重要性を痛感しました。

今後も、等身大の茨田高校を広く周知し、茨田高校の特色や魅力をPRしていきたいと思っています。